



置かれた場所で咲く

校長 板見 剛

副校長 森 敏樹（作成）

『1学期を振り返り、2学期に備える夏休み』

～ここまでの成長さらに伸ばし、課題克服に正面から向き合う36日間～

【生徒の皆さん】

明日から36日間の夏休みに入ります。夏休みの始まりにあたり、4月から今日までの自分を振り返ってみましょう。長与中の生徒全体を見た場合、日々の学校生活や学校行事を通して、一時期、落ち着きのない時期もありましたが、それを各学年とも乗り越え、集団としての成長があったと捉えています。

皆さん一人一人はどうでしょう。成長した面、課題として改善が必要な面、紙に書き出してみるとよいと思います。学校生活や学習の取組、そして家での過ごし方、長与町に住む地域の一員としてなど、様々な視点で考えてみてみましょう。この夏休みは、1つでもいいので、「自己のさらなる成長と課題克服」に向けた「自己成長」を意識した夏休みとしてください。学校に登校しなくてよいからと、長時間のゲームやスマホ、SNS や夜更かしといった過ごし方では、残念ながら、自分の課題に向き合った「自己成長している姿」とは言えません。日々の規則正しい生活、夏休みの課題への計画的な取組、そして家庭内の手伝いなど、「昨年の夏休みとは一味違う」と家族の方が、みなさんの成長を感じられるような過ごし方を期待しています。

ただ、この1学期は気がかりなこともありました。学校全体で見ると、スマートフォンやおかし等の「不要物の持ち込み」や時間を意識した行動が十分とは言えない「授業開始時間への遅れ」、前日の夜更かしによる睡眠不足や朝食を食べていないことが要因と考えられる「体調不良者の増加」です。どれも心配なことです。このことをなくすためには、一人一人の自覚ある日々の行動が不可欠です。このことをしっかり改善した状態で、2学期を迎えられるようにしていきましょう。

【保護者の皆さん】

1学期は、本校の教育活動への多大なご理解とご支援をいただきありがとうございました。今学期には、体育大会、授業参観や道徳公開授業、生命尊重に関する学級懇談会を実施しましたが、多くの保護者の皆様に参加いただき、生徒たちの頑張り、教職員の授業の指導場面といった学校の様子等、ご覧いただけたことと思います。学校全体は、おおむね落ち着いた様子で日々の学校生活を送ることができていたと捉えています。ただ、生徒の欄にも記したとおり、新しい環境に慣れてきた学期の後半は、学校全体で見ると、「不要物の持ち込み」、「授業開始時間への遅れ」が見られました。このことには、本校職員全員が危機感をもち、学年の壁を越えて一枚岩となって対応してきました。生徒に十分な指導をした上で、それぞれの家庭への協力を仰ぎ、現在は見守りをしているところです。「規範意識を高めること」、「正しい判断力を身につけること」に、なお一層職員一丸となって指導して参ります。スマホや他の不要物等、登校時に持っていないかご家庭で声掛けや確認をしていただくと大変助かります。また、これからさらに気温も上昇し、暑い日が続きます。「睡眠不足による体調不良」、「朝食の欠食」については、熱中症のリスクが高まりますので、健康に一日を過ごすためにも、ご家庭のなお一層のご協力をお願いします。

～NSC（本校生徒関係）の結果～

□野球 7月5日（土）県中総体軟式野球競技クラブチーム予選会
1回戦 4-8（対 平戸市）

裏面に、8・9月行事予定を掲載していますのでご覧ください。

『そてつの会の皆様のご尽力に感謝』

- 7月15日(火)午前中に、長与中学校学校支援ボランティア「そてつの会」の皆さんとPTA 会長さん総勢 11 名の方々に、本校体育館前の整地作業をしていただきました。夏の日差しが強く、暑い中での作業、本当にありがとうございました。
- 以前から自家用車の乗り入れにより、地面がデコボコになっており、雨が降ると、水たまりが何か所もできている状況でした。町教委生涯学習課に依頼し、夜間の体育館使用の方々にも、この場所への乗り入れをしないよう協力をお願いしていたところでした。
- 右下の写真を見てお分かりのように、たくさんの重機をご用意いただきました。トラックやパワーショベル、土地を平らにするための重機等、様々な機械を駆使(くし)して、体育館前のスペースを整地していただきました。
- 「そてつの会」の皆さんは、以前から紹介している通り、卒業生の保護者の方々です。今回も「長与中の生徒のために」と、暑い中たくさんの汗をかきながら作業していただきました。
- 生徒・教職員一同、学校を支えていただいている皆様のご支援と見守りのおかげで、安全安心の学校生活を送ることができていることに感謝したいと思います。

※今回、整地していただいた体育館前のスペースは、引き続き、自家用車で乗り入れることがないように、ご協力をお願いします。



『自分の命を守る判断と行動を』

この夏休み期間中、皆さんが大きな事故やトラブルに巻き込まれることなく、安全に過ごすことが、保護者・地域の皆さん、先生たちの願いです。海や川の事故、交通事故、熱中症等から自分の身を守るためにも「自分の命を守るための判断力と行動力」を身につけましょう。

○熱中症

熱中症を引き起こす3つの要因は、「環境・からだ・行動」と言われます。気温や湿度等が高い「環境」、体調不良や寝不足等の「からだ」、水分補給を長時間しない「行動」などがあげられます。自分の体の状態は、自分が一番わかります。無理は絶対に禁物です。少しでも、いつもの体の調子が違うと感じたら休養しましょう。十分な睡眠時間の確保と毎回の食事の摂取といった規則正しい生活は欠かせません。部活動前は、「熱中症予防のための体調チェック」を行います。体調不良や朝食欠食等、チェック項目に該当する場合は、安全面・健康面を考慮し、練習を控えさせるようにしています。毎回参加できるよう、日ごろから健康を意識した生活を心がけましょう。

○交通事故

他県において、通学路を通る児童生徒が、交通事故被害にあったニュースが報道されていました。歩行者にできることは、「できるだけ、ガードレールのある場所を歩く」、「信号が変わるときに無理な横断はしない」、「歩道のない場所では、道の端を広がらず歩く」ということが挙げられます。自転車に乗る場合も、歩行者と接触することがないように、十分に注意しましょう。

○海・川などの水の事故

海水浴に行く際は、必ず監視員がいる場所で泳いでください。体調不良や寝不足気味で泳ぐことは危険です。監視員のいない場所では、みなさんの異変に気付くことができません。安全が確保された場所で泳ぐようにしましょう。ため池等も絶対に近づかないでください。毎年、全国で死亡転落事故が起きています。